

AEDの普及を通じた地域貢献

■ EXPO2025 大阪・関西万博における日本光電の取組み

日本光電は、2025年4月～10月に開催されたEXPO2025 大阪・関西万博において、会場内の医療救護体制をサポートしました。

EXPO2025 大阪・関西万博では、「いのち」をテーマに、来場者の安全と安心を守るための医療救護体制が整えられ、当社は会場整備のサプライヤーとして、検査や治療時に用いる医療機器を提供しました。また、公益財団法人日本AED財団の一員として、一般の方でも電気ショックが行えるAEDの設置や講習、緊急時の運搬支援システムをサポートしました。

これらの取り組みにより、会期中にAEDによる救命が4件行われたことを確認しています。

会場内に設置された当社製品

- 会場内全体 [AED…76台 救命テント…50式 パルスチェッカー PLS-1000…10台]
- 診療所 [除細動器…3台 心電計…3台]
- 応急処置 [心電計…5台]
- 救急車 [除細動器…4台]

さらに、厚生労働省による『日本の先進的な医薬品等の情報発信事業』にも協力し、当社の「ロボット麻酔システム」が日本企業の最先端技術の1つとして紹介されました。本システムが日本の医薬品および医療機器の国内外におけるプレゼンス向上と産業発展に寄与することを願うとともに、これからも麻酔科医の負担軽減や医療の安全性の向上に努め、グローバルな医療課題の解決に貢献し、人と医療の持続可能な未来を創造していきます。

詳細については、当社ウェブサイトをご覧ください。



EXPO2025 大阪・関西万博における日本光電の取組み



■ 小学館「幼稚園」の「おやこで! AEDたいけんセット」が

第67回日本雑誌広告賞「メディア複合型広告部門」金賞を受賞

日本光電が全面協力した、株式会社小学館の幼児誌「幼稚園」の付録「おやこで! AEDたいけんセット」(2024年10・11月号)が、第67回日本雑誌広告賞の第四部「メディア複合型広告部門」で金賞を受賞しました。日本雑誌広告賞は一般社団法人日本雑誌広告協会が主催する、雑誌広告に関する優秀な作品を表彰するアワードです。

本付録は、日本光電のAEDとほぼ同じサイズで、レバーを引くとフタが開く仕組みや内部のスイッチなどデザインを忠実に再現し、音声ガイダンスも流れることから、体を描いたポスターに電極パッドを配置し、電気ショックや胸骨圧迫(心臓マッサージ)を練習することができます。本誌の特集記事でAEDを分かりやすく紹介するとともに、組み立て紙付録により楽しみながら学ぶことができる雑誌広告とした点が評価されました。

日本光電は、今後もAEDの普及とともに身近な救命教育の推進等により、誰もがためらいなくAEDを使用できるよう、様々な活動に取り組みます。



詳細については、当社ウェブサイトをご覧ください。



小学館「幼稚園」の「おやこで! AEDたいけんセット」が第67回日本雑誌広告賞「メディア複合型広告部門」金賞を受賞

